

福島県では国立公園、国定公園の自然環境を保護し、適正な利用を図るため、県で管理している登山道や避難小屋などの整備を行っています。今回は、登山道などの維持管理の様子をご紹介します。

安達太良山



整備前

老朽化により踏み板などが損傷し、歩きにくい状態になっていました。



施工中

現場では登山者の通行や安全を考慮しながら、作業を実施しています。



整備後

足の踏み場が確保され、歩きやすくなりました！

磐梯山



整備前

木道が傾いてしまい、歩きにくい状態になっていました。



施工中

資材などは**人力での運搬**となるため、小規模な補修作業でも**大変な作業**になります。



整備後

木道の下に基礎となる木材を設置することで、**傾きが改善**され、歩きやすくなりました！

吾妻山・東吾妻山



草刈りの様子

歩行の支障になる笹などの草刈りを定期的に行っています。



清掃の様子

酸ヶ平にある公衆トイレの清掃を定期的に行っています。



整備前

損傷して歩きにくくなっている木道などを応急的に修繕しています。



整備後

※ 登山道などの管理施設は定期的に点検し修繕していますが、「歩きにくい」「利用しにくい」箇所もあるため、十分注意してください。

